

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | |
|-----------------|---|------------------------------------|--|------------------------------------|--|----------------|
| 学 校 名 | 設置認可年月日 | 校 長 名 | 所 在 地 | | | |
| 明治東洋医学院 専門学校 | 昭和51年4月1日 | 谷口 和彦 | 〒564-0034 吹田市西御旅町7番53号 (電話) 06-6381-3811 | | | |
| 設 置 者 名 | 設立認可年月日 | 代 表 者 名 | 所 在 地 | | | |
| 学校法人 明治東洋医学院 | 昭和53年2月10日 | 谷口 和彦 | 〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1 (電話) 0771-72-1231 | | | |
| 目 的 | 学校教育法及びあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に関する法律に基づき、はり師及びきゅう師に関する知識、技術を教授し、もって現代に立脚した合理的思考のできる有資格者を養成するとともに、国民の健康保持・増進に寄与する人材を育成することを目的とする。 | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 医療 | 医療専門課程 | 第2鍼灸学科 | 3年(夜) | 【3年】88単位2435時間 【1・2年】95単位2420時間 | 平成7年文部科学省告示第7号 | |
| 教育課程 | | 講義 | 演習 | 実験 | 実習 | 実技 |
| | | 【3年】55単位1490時間 【1・2年】58単位1400時間 | 【3年】15単位375時間 【1・2年】20単位450時間 | 単位時間 (又は単位) | 【3年】18単位570時間 【1・2年】18単位570時間 | 単位時間 (又は単位) |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 180人 | | 39人 | 18人 | 21人 | 39人 | |
| 学期制度 | ■1学期：4月～7月 ■2学期：8月～11月 ■3学期：12月～3月 | | | 成績評価 | ■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 3回の試験、及び出席を加味し評価する | |
| 長期休み | ■学年始め：4月1日から5日 ■夏 季：8月1日から8月20日 ■冬 季：12月25日から1月5日 ■学 年 末：3月25日から31日 | | | 卒業・進級条件 | 開設科目、60点(可)以上をもって進級および卒業の条件とする。 | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 定期的にクラスアドバイザーが保護者等と連携し連絡をとっている。 体調の理由の場合は、休学を薦める。 | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 ■サークル活動(有・無) | |

| | | | |
|---------|--|---------|----------------------|
| 就職等の状況 | ■主な就職先、業界等 病院、鍼灸院、鍼灸整骨院等 ■就職率 ^{※1} 95.8 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 82.1% （平成27年度卒業者にに関する平成28年4月時点の 情報） | 主な資格・検定 | はり師・きゅう師国家試験 受験資格 |
| 中途退学の現状 | 中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成27年4月1日在学者 57名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 57名（平成28年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 クラスアドバイザーによる定期的な個別指導 | | |
| ホームページ | URL: www.meiji-s.ac.jp | | |

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

鍼灸医療を実践する職業人の養成において、実践的かつ専門的な能力を育成するに必要な教育課程を編成するにおいて下記の基本方針に基づいて企業等と連携する。

- ①現代の社会で求められている、また、今後、ニーズが高まると予想される鍼灸領域での実践的技能の習得を目的とする。
- ②講師派遣施術所と教育内容の調整をおこない、講師が提供できる知識・技術・技能の内容に即した授業科目を設定し、実習を中心とする授業形態により実践的な技能の習得を図る。
- ③教育内容、効果が目的に合致しているか、多様な評価を行い、教育の改善を図ることにより、教育水準の向上をはかる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|-------|-------------------|
| 竹藤 裕子 | 公益社団法人 大阪府鍼灸師会 理事 |
| 田中 博 | 田中鍼灸治療院 |
| 辰巳澄子 | 鷹峰鍼灸院 |
| 中村 満 | 明治東洋医学院専門学校 鍼灸学科長 |
| 田口辰樹 | 明治東洋医学院専門学校 教務部長 |

(開催日時)

第1回 平成28年 6月15日 15:00 ~ 15:50

第2回 平成28年12月23日 14:30 ~ 16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

講師派遣施術所との連携による実習・演習等の基本方針は以下の通りとする。

- ①講師が提供できる知識・技術・技能の内容は、当該授業科目の専門性を向上させるのに必要な内容であり、かつ卒業後の実践的、専門的能力の育成に必要な内容とする。
- ②実習については、安全性を確保し、確実に技能が習得できる教育方法を決定する。
- ③技能の習得ができたか、教育内容が妥当であったか、学生は満足したかなどを、学生、教育者、第三者により評価する。
- ④評価結果を教育課程編成委員会で検討し、教育の改善を行うことにより、教育の水準の向上を図る。

| 科 目 名 | 科 目 概 要 | 連 携 企 業 等 |
|-----------------|---|----------------|
| 鍼灸応用実習Ⅰ (伝統) | 伝統的におこなわれている専門的な鍼灸技法の中で、現代社会でも用いられている技法を習得し実践できることを目的とし、鍼灸施術所の現場で実践・活躍している講師の指導の下、学校実技室内で実習をおこなう。 | さかい鍼灸院・田中鍼灸治療院 |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

加盟している公益社団法人東洋療法学校協会の教員研修会（毎年度8月を予定）に参加する。

企業等の外部講師を招き、学校内において研修する。

企業等での研修を希望する教員に対し、募集を行い、曜日（原則週1回）を定め研修する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|-------|----------------------------|
| 上山 陽 | 学校法人 大阪学園 大阪高等学校 進路支援センター長 |
| 米川 修二 | 関西大学北陽高等学校 |
| 酒井 良和 | さかい鍼灸院 |
| 矢野 忠 | 明治東洋医学院専門学校 教員養成学科長 |
| 中村 満 | 明治東洋医学院専門学校 鍼灸学科長 |
| 三澤 圭吾 | 明治東洋医学院専門学校 柔整学科長 |
| 田口 辰樹 | 明治東洋医学院専門学校 教務部長 |
| 藤井 義巳 | 明治東洋医学院専門学校 事務局長 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページで公表

URL: www.meiji-s.ac.jp

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページで公表

URL: www.meiji-s.ac.jp

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 3年生 | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|------|--------|--|-----------------------|------|-----|--------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 情報処理 | コンピュータの基本を理解し、日常的に用いるインターネット・ワープロ表計算・プレゼンテーションソフトの理解を深め、セキュリティの知識をつけることなど IT 技術の基礎を習得することを目的とする。 | 1 ① | 30 | 2 | | ○ | |
| ○ | | | 自然科学 | 自然科学の興味、関心を持ち、科学的思考を身につけることを目的とする。 | 1 ① | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 保健体育 | スポーツを通して、スポーツの楽しさや仲間意識などを身につけることを目的とする。 | 1 ① | 30 | 2 | | ○ | |
| ○ | | | 外国語 | 医療で用いられる用語をキーワードにし、英語の理解を深めることを目的とする。 | 1 ② | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 倫理学 | 医療人に必要な倫理を学ぶことを目的とする。 | 1 ② | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 法学 | 鍼灸業務と関係する法律の基礎を学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床心理 | 患者と接するために必要な心の問題を学ぶことを目的とする。 | 3 ② | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 解剖学Ⅰ～Ⅶ | 医学を学習する上で重要な人体構造の知識の習得を目的とする。解剖学Ⅰは骨、Ⅱは筋、Ⅲは内臓、Ⅳは脈管、Ⅴは神経、Ⅵ・Ⅶでは局所解剖を学ぶことを目的とする。 | 1 通 2 ① ② | 210 | 7 | ○ | | |
| ○ | | | 生理学Ⅰ～Ⅴ | 医学を学習する上で重要な人体機能の知識の習得を目的とする。生理学Ⅰ・Ⅱでは植物生理、Ⅲ・Ⅳ・Ⅴでは動物生理を学ぶことを目的とする。 | 1 通 2 ① ② | 150 | 5 | ○ | | |
| 合計 | | | | 19 科目 | 570 単位時間 (| | | 26 単位) | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 3年生 | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|------|----------------|--|-------------------|------|-----|------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 運動学 | 人の動きや動作を可能にしている構造とそのメカニズムを学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 病理学概論 I～II | 人体の疾病についての原因や病態などが考察できる、基礎・基本的な病理学的知識を習得することを目的とする。 | 2 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 衛生学・公衆衛生学 I～II | 衛生学・公衆衛生学の基本的な知識を習得しつつ、国家試験レベルの問題も理解することを目的とする。 | 2 ① ③ | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | リハビリテーション医学 | リハビリテーション医学の概要や障害の評価法と治療法、主要な疾患に対するリハビリテーションなどを学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学総論 I～II | 鍼灸師として必要な診察にかかわる基礎的な知識を習得することを目的とする。 | 2 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学各論 I～V | 鍼灸師として様々な症状に対応するために、現代医学的な考えにもとづく疾患の起こり方、診察について学び、臨床現場で適切に対応できる知識の修得を目的とする。 | 2 通 | 150 | 5 | ○ | | |
| ○ | | | 医療概論 | 医療制度や東洋医学の歴史について学ぶことを目的とする。 | 1 ③ | 20 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 関係法規 | はり師きゅう師の業務に関係する法令について学ぶことを目的とする。 | 3 ② | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | はりきゅう基礎学 I～II | はり・きゅうの基礎を理解し、実技がスムーズに行えることを目的とする。さらに臨床鍼灸師の仕事内容および鍼灸治療の現場に関する知識を深めることを目的とする。 | 1 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| 合計 | | | | 17 科目 | 500 単位時間 (17 単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 3年生 | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|------|--------------|---|-----------------------|-----------|---------|--------|--------|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 経絡経穴概論Ⅰ～Ⅱ | 鍼灸治療を行う上で基本となる経穴名、部位（取穴法）、一定の臓腑と関連する経絡を覚えることを目的とする。 | 1 ② ③ | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学概論Ⅰ～Ⅲ | 東洋医学で最も重要な基礎（陰陽、五行、気・血・津液、臓腑生理）の学習を行っていきます。東洋医学の基礎用語を理解し、体の仕組みを学ぶことを目的とする。 | 1 通 | 90 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学臨床論Ⅰ～Ⅴ | 現代医学的な考え方に基づく疾患の診察と治療について学習すると同時に、東洋医学的な観点からの診察と治療法について学び、各疾患に対して幅広い対応が行えるような知識の習得を目的とする。 | 2 ② ③ 3 ② | 150 | 5 | ○ | | |
| ○ | | | 伝統応用鍼灸学 | 東洋医学的診断を理解し、病態把握、治療法を導き出せるための基礎知識を学ぶことを目的とする。 | 2 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸臨床学 | 現代医学と東洋医学を統合した診察から治療までの診療システム（明治東洋医学院鍼灸診療システム）を学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸臨床特論 | 専門性の高い鍼灸臨床について学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸理論Ⅰ～Ⅱ | 鍼灸の効果やそのメカニズムを学ぶことを目的とする。 | 3 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床コミュニケーション学 | コミュニケーションに関する知識を身につけ、医療面接を行う上で、必要な医療コミュニケーションの役割と意義を理解することを目的とする。 | 2 ② | 30 | 1 | | ○ | |
| ○ | | | 社会はりきゅう学 | 現代の日本社会における鍼灸療法の社会的役割、および鍼灸医療を取り巻く様々な医療環境などの基礎知識の修得を目的とする。 | 3 ② | 30 | 1 | ○ | | |
| 合計 | | | | 17 科目 | | 510 単位時間（ | | 17 単位） | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 3年生 | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------------------|------------------|------------|---|----------------------------|------------------|-------------|--------|--------|------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当 年次・学期 | 授 業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験・ 実 習・ 実 技 |
| ○ | | | はり実技Ⅰ～Ⅱ | 鍼術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得し、自身や相手の身体に対し安全に施術することができ、また医療人としての衛生概念も養うことを目的とする。 | 1 ① ② | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | きゅう実技Ⅰ～Ⅱ | 艾炷づくりなどの灸術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得し、自身の身体に対し安全に施術できることを目的とする。 | 1 ① ② | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | はりきゅう実技Ⅰ～Ⅲ | 12 経絡の流れを理解し、各経絡の主要経穴を正確に取穴でき、かつ施鍼・施灸の消毒を含む一連の流れを理解し、主要経穴に正確および安全に施術することができることを目的とする。 | 1 ③ 2 ① | 90 | 3 | | | ○ |
| ○ | | | 東洋医学診察実習 | 四診（望・聞・問・切）の役割を理解し、診断に必要な身体情報を収集するための四診の基礎実技を取得することを目的とする。 | 2 ① | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 伝統応用鍼灸学実習 | 伝統応用鍼灸学で学んだ診察システムの一連の流れを実践し、病態把握、治療法を導き出せることを目的とする。 | 2 ② | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸臨床学実習Ⅰ～Ⅴ | 鍼灸臨床学で学んだ現代医学系と東洋医学系の診療システムを統合した診察から治療までの技術を習得することを目的とする。 | 2 ② ③ 3 ① ② | 150 | 5 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床実習Ⅰ～Ⅱ | 鍼灸臨床における診察から治療までの一連の過程、患者との信頼関係を築く過程を理解することを目的とする。また、カンファレンスを通して、疾患に対する基礎知識、診察・治療法を理解し臨床で実践できることを目的とする。 | 2 ③ 3 ① | 90 | 2 | | | ○ |
| | ○ | | 鍼灸応用実習Ⅰ～Ⅲ | 古くから継承されている先人達が残した伝統的な鍼灸、スポーツ傷害やコンディショニングにおける鍼灸、美容やアンチエイジング領域における鍼灸を習得することを目的とする。 | 3 ① ② | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸医学演習Ⅰ～Ⅷ | はり師・きゅう師国家試験に必要な知識を再確認し、学習することを目的とする。 | 3 ② ③ | 225 | 8 | | ○ | |
| 合計 | | | | 26 科目 | 795 単位時間 (26 単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 3年生 | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|------|---------|--|----------------------------|----------|-------------|--------|--------|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 鍼灸専門演習Ⅰ | 学会・研修会へ参加することで、鍼灸についての総合的な知識の向上を図ることを目的とする。 | 1 通 2 通 3 通 | 30 | 1 | | ○ | |
| ○ | | | 鍼灸専門演習Ⅱ | 興味のあるテーマを選択し、研究、臨床あるいは国家試験対策を行い鍼灸学を専門的に理解することを目的とする。 | 3 ① ② | 30 | 1 | | ○ | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 2 科目 | 60 単位時間 (2 単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 1年生・2年生 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|-------------------|--|-----------------------|------------|-------------|--------|--------|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 情報処理 | コンピュータの基本を理解し、日常的に用いるインターネット・ワープロ表計算・プレゼンテーションソフトの理解を深め、セキュリティの知識をつけることなど IT 技術の基礎を習得することを目的とする。 | 1 ① | 30 | 2 | | ○ | |
| ○ | | | 自然科学 | 自然科学の興味、関心を持ち、科学的思考を身につけることを目的とする。 | 1 ① | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 健康の科学 | 健康の維持・増進を図るための基礎的な知識を習得することを目的とする。 | 1 ① | 30 | 2 | | ○ | |
| ○ | | | 外国語 | 英語を通してコミュニケーションを図ることを目的とする。 | 1 ② | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 倫理学 | 医療人に必要な倫理を学ぶことを目的とする。 | 1 ② | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 社会学 | 社会の事象を1つの視点から学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 心理学 | 人(患者さん)と接するために必要な心の問題を学ぶことを目的とする。 | 3 ② | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 基礎人体の構造と機能 I～II | 体の構造と働きの概略を学ぶことを目的とする。 | 1 ① | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人体の構造と機能 I-1～II-5 | 器官系に区分して、構造と働きを関連づけて学び、体のしくみを詳しく学ぶことを目的とする。 | 1 ② ③ 2 通 | 260 | 10 | ○ | | |
| 合計 | | | | | 20 科目 | 530 単位時間 (| | 26 単位) | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 1年生・2年生 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|----------------|--|-------------|------|-----|--------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 演習 人体の構造と機能 | 国家試験に対応した知識を習得することを目的とする。 | 1 ③ | 20 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 運動学 | 人の動きのメカニズムを学ぶことを目的とする。 | 2 ③ | 20 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 病理学概論 I～II | 人体の疾病を理解するための基礎として、各臓器に生じる病変（循環障害、炎症、腫瘍など）を学ぶことを目的とする。 | 2 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 衛生学・公衆衛生学 I～II | 病気を予防して健康の維持・増進をはかることを学ぶことを目的とする。 | 2 ① ③ | 50 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | リハビリテーション医学 | リハビリテーション医学の概要や障害の評価法と治療法、主要な疾患に対するリハビリテーションなどを学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学総論 I～II | 診察の基本的な方法を学習し、代表的な異常所見とそれらがみられる疾患・病態について学ぶことを目的とする。 | 2 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学各論 I～IV | 現代医学に基づいた疾患の概念、原因、症状などを系統的に学ぶことを目的とする。 | 2 通 | 100 | 4 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学演習 | 症例を用いた演習により、診察法や疾患についての知識を深め、臨床能力を高めることを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | | ○ | |
| ○ | | | 医療概論 | 医療制度や東洋医学の歴史について学ぶことを目的とする。 | 1 ③ | 20 | 1 | ○ | | |
| 合計 | | | | 15 科目 | 390 単位時間 (| | | 15 単位) | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 1年生・2年生 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|-------------|---|-------------------|----------|---------|--------|--------|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 関係法規 | はり師きゅう師の業務に係る法令について学ぶことを目的とする。 | 3 ② | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | はりきゅう基礎学Ⅰ～Ⅱ | 「はり」の材質や「きゅう」の材料、方法、消毒など鍼灸を行うための基礎を学ぶことを目的とする。 | 1 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 経絡経穴概論Ⅰ～Ⅱ | 経穴（ツボ）の名称や部位、経絡について学ぶことを目的とする。 | 1 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学概論Ⅰ～Ⅲ | 東洋医学の基礎理論や診察・治療の基礎を学ぶことを目的とする。 | 1 通 | 80 | 3 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸概論 | 鍼灸が用いられている様々な領域を知ることにより、鍼灸師にどのような態度、知識、技能が必要かを学ぶことを目的とする。 | 1 ③ | 20 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸臨床ⅠA～ⅡB | 主要な症候や疾患について鍼灸治療を行うための基礎と臨床の知識を統合して学ぶことを目的とする。 | 2 通 | 110 | 4 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学臨床論 | 主要症候について、鍼灸の適否や現代医学と東洋医学の立場から鍼灸治療の方法を学ぶことを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学演習 | 国家試験に対応できる東洋医学の知識や応用力を習得することを目的とする。 | 3 ② | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 伝統応用鍼灸学 | 臨床実習でおこなう東洋医学の診療に必要な知識を習得することを目的とする。 | 2 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| 合計 | | | | 16 科目 | 450 単位時間 (16 単位) | | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 1年生・2年生 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|--------------|--|------------------|-----------|-------------|--------|--------|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 鍼灸臨床学 | 卒業後の臨床に必要な知識を習得することを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸臨床特論 | 専門性が高い鍼灸臨床に関する知識を学習することを目的とする。 | 3 ① | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸理論 Ⅰ～Ⅱ | はりやきゅうの刺激が体に作用して治療効果が生じるしくみを学習することを目的とする。 | 3 ① ② | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床コミュニケーション学 | 臨床に必要なコミュニケーションの取り方について、医療面接を中心に学ぶことを目的とする。 | 2 ② | 30 | 2 | | ○ | |
| ○ | | | 社会はりきゅう学 | 社会のニーズの多様化に対応して、鍼灸師が果たす役割や様々な分野における鍼灸について学ぶことを目的とする。 | 3 ② | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | はり実技 Ⅰ～Ⅱ | はりの基本手技について、安全かつ確実に施鍼する技術を学ぶことを目的とする。 | 1 ① ② | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | きゅう実技 Ⅰ～Ⅱ | きゅうの基本手技について、安全かつ確実に施灸する技術を学ぶことを目的とする。 | 1 ① ② | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 取穴実技 Ⅰ～Ⅱ | 経穴（ツボ）が体のどこにあるかを確認し、診察や施術の時に必要なツボを取れる能力を身につけることを目的とする。 | 1 ② ③ | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | はりきゅう実技Ⅰ～Ⅱ | 身体各部の経穴に、安全かつ的確に施鍼、施灸できる技術を学ぶことを目的とする。 | 1 ③ 2 ① | 60 | 2 | | | ○ |
| 合計 | | | | 14 科目 | | 420 単位時間（ | | 16 単位） | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 1年生・2年生 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|------------|--|------------------|------|-----|--------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 東洋医学診察実習 | 東洋医学概論で学んだ東洋医学の診察法の基礎的な技術を学ぶことを目的とする。 | 2 ① | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 伝統応用鍼灸学実習 | 伝統応用鍼灸学で学んだ東洋医学の診察技術を学ぶことを目的とする。 | 2 ② | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸臨床学実習Ⅰ～Ⅱ | 鍼灸臨床で学習した診察、治療の技術を学ぶことを目的とする。 | 2 ② ③ | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸総合実習Ⅰ～Ⅱ | 3年間の総括となる実習。 | 3 ① ② | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床実習Ⅰ～Ⅱ | 学内の附属治療所や学外の附属施設で、基本的な鍼灸診療ができるように実習を行うことを目的とする。 | 2 ③ 3 ① | 90 | 2 | | | ○ |
| | ○ | | 鍼灸応用実習Ⅰ～Ⅲ | 次の3つの領域から2つを選択して学ぶことを目的とする。 ①伝統鍼灸 古くから継承されている先人達が残した伝統的な鍼灸について学ぶことも目的とする ②スポーツ鍼灸 スポーツ傷害に対する鍼灸やコンディショニングにおける鍼灸を学ぶことを目的とする ③美容鍼灸 美容やアンチエイジング領域における鍼灸を学ぶことを目的とする。 | 3 ① ② | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸医学演習Ⅰ～Ⅸ | 国家試験に対応した授業で、はり師きゅう師に必要な知識を確認することを目的とする。 | 3 通 | 220 | 9 | | ○ | |
| ○ | | | 鍼灸専門演習Ⅰ | 学会・研修会へ参加することで、鍼灸についての総合的な知識の向上を図ることを目的とする。 | 1 2 3 通 | 30 | 1 | | ○ | |
| ○ | | | 鍼灸専門演習Ⅱ | 応急処置等の知識・技能を習得することを目的とする。 | 1 ③ | 20 | 1 | | ○ | |
| 合計 | | | | 21 科目 | 600 単位時間 (| | | 21 単位) | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程第2鍼灸学科) 平成28年度 1年生・2年生 | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------|------|-----------|--|-----------------------|----------|-------------|--------|--------|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 鍼灸専門演習Ⅲ | 興味のあるテーマを選択し、研究、臨床、あるいは国家試験対策を行うことを目的とする。 | 3 ① ② | 30 | 1 | | ○ | |
| | | ○ | 教養基礎演習 | 3年間の学習を効果的にを行うための学習のスキルや医療人に必要な態度を身につけることを目的とする。 | 1 ① | 30 | 2 | | ○ | |
| | | ○ | 鍼灸臨床特論Ⅰ～Ⅵ | 各科専門領域の鍼灸治療、開業するための知識、開業鍼灸師に必要な臨床力を習得することを目的とする。 | 2 通 3 ① ② | 160 | 6 | ○ | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 8 科目 | 220 単位時間 (8 単位) | | | | | |